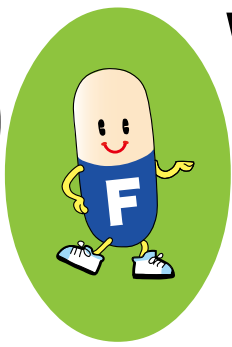


POWER!



2018年
3月
vol. 56

平成30年(2018年)
3月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

日本薬剤師会の会長候補者が決定!
平成30年3月11日(日)の第90回臨時総会において、次期会長候補者に山本信夫氏が選出された。

主役は女性です!

「JPLフォーラム2018」が開催される!!

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。



平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

平成30年2月11日(日)、四ッ谷主婦会館プラザエフにおいてJPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018が「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」主役は女性です」をテーマとして開催された。

師法が成立するまでの道筋が語られた。今や分業率70%超えの時代となったが、それまでの間重要な課題が解決し、進展を見たが、その背景には薬剤師議員の活躍があったことが強調された。そして、現在の日本薬剤師会における課題として、平成30年度の調剤報酬改定、病院敷地内への薬局誘致問題、平成30年度政府予算への要望について説明された。

あい、きぼう、これからの医療と薬剤師

全員の集合写真撮影のあと、本田あきこ副会長の講演となった。自分の成り立ち、政治に関わった今までの経験、特に薬学教育が6年制になった時に政策秘書として国会で立ち会っていたことが報告され、また、熊本地震における薬剤師の活動等に対してお礼が述べられた。又、絵本のスイミーに例えて、仲間の大切さを呼び掛けた。更に、約700名の国会議員の中に現在薬剤師議員は衆議院3名参議院1名しかいないことを述べ、「薬剤師の声を届ける役割を果たすため本田あきこは頑張る」と力強い決意表明がなされた。

本田あきこ副会長をどう盛り上げていくか

後半は8テーブルに分かれグループディスカッションが行われた。テーマは「本田あきこ副会長をどう盛り上げていくか」であり、活発な意見が交換された。グループディスカッションの後、グループ発表がなされた。グループ発表で共通に出た提案は、SNS情報発信、メルマガ登録、研修会での挨拶動画の上映、お茶会開催、学生へのアピール、各簿を事務局・家族・同窓会へ広げる、各支部に女性リーダーを養成、サムシングオレンジ!何かオレンジカラーを身につけることなどであった。

総評と閉会

グループ発表のあと、荻野副会長から総評がなされ、今回のJPLフォーラムの内容を地元会長、幹事長に是非とも報告していただき、規模は問わないので地元版の女性集会を企画・実施していただきたいと結ばれた。

最後に橋本企画実行委員のがんばるぞいコールが行われ、安東副会長が閉会の挨拶をして、熱く燃えたJPLフォーラム2018が終了した。



風力計



日本薬剤師連盟
常任総務 大澤 泰輔

どうしても必要!!

我々薬剤師の職能は多くの法律(薬剤師法・薬機法・健康保険法・医療法等々)、規則、あるいは診療報酬などの制度と深い関係がある。そして、その法律や規則が国政の場である国会で決められているため、その国会で発言できるのが国会議員である以上、薬剤師である国会議員を送り続けたいといけない。黙っていたら誰も薬剤師のための発言をしないからだ。薬剤師のことを薬剤師が発言すべきである。今、我々の代弁者は参議院では藤井もとゆき議員ただ1人である。しかし、そんな中でも藤井議員は薬学6年制の実現、薬剤師国家公務員俸給表の見直し、新型インフルエンザ優先接種対象を薬剤師や医薬品卸まで拡大、危険ドラッグの撲滅など薬剤師の代表でなければできなかったことを実現しているが、さすがに1人では限界がある。因みに医師・歯科医師・看護師・臨床検査技師、理学療法士は複数の参議院議員を持っている。藤井議員いわく「参議院で開催される各委員会は、参議院議員であれば出席し意見を述べることができる。しかしながら、医療に関する委員会が同時に開催されたら、その1つは意見するところか聞くことすらできない」と。こういった委員会の積み重ねで法律が改正されたり、新しい規則ができることから、その出席はとても重要なことである。そもそも6年に1度の戦いだけでは薬剤師の意見を国政に反映するには限界がある。どうしても2人目の我々の代表が必要だと思いませんか?



本田あきこ副会長の全国訪問の旅は、昨年未までに45都道府県を巡り、1月20日には奈良県を訪問し、最後の鳥取県には3月にお邪魔する予定となっている。

全国支部訪問が始まる!

本田あきこ副会長は、年が明けてから各地の新年会に出席するとともに、いよいよ全国支部訪問の旅が始まった。2月、3月は、東京と関東ブロックを訪問することになっており、原則として日本薬剤師連盟の役員が同行することとしている。同一県を連続して訪問する場合は何回かに分けて訪問する場合など、各



東京都



神奈川県



群馬県



山梨県



埼玉県



千葉県

全国訪問の旅

第2ラウンドスタート!!

奈良県



1月20日、奈良県を訪問し、理事・地区会長会に出席した。副会長就任の挨拶と今後の活動に対する支援をお願いした。

都県の実情を勘案しながらスケジュール調整を行っている。本号から、支部訪問の模様をお伝えする。

●**東京都の支部訪問**
1月24日(水)、25日(木)
初日は、北多摩北部の薬局を中心に訪問し、その後、杉並区薬剤師会の新年会

に出席した。2日目は、西北部の薬局を中心に訪問した。
2月4日(日)
大田区で開催された地区薬剤師研修会に出席し、挨拶を行った。

●**東京都の支部訪問**
2月10日(土)
西部地区(杉並区、中野区、新宿区)の薬局訪問を行い、その後、東京都本田あきこ後援会第1回拡大役員会に出席した。
2月15日(木)
東部地区(墨田区、江東区、江戸川区)

の薬局訪問を行い、その後、江戸川区の若手経営者の会において意見交換を行った。また、江戸川区薬剤師会より推薦決定書を受け取った。
2月21日(水)
北多摩西部地区(立川市、昭島市、国立市、東大和市、武蔵村山市)の薬局を訪問した。(5月以降にも訪問予定)

●**神奈川県**の支部訪問
1月30日(火)、31日(水)、2月1日(木)
初日は、秦野市、伊勢原市内の薬局を訪問、二日目は、平塚市、茅ヶ崎市内の薬

局を訪問、3日目は川崎市内の薬局訪問を行った。
(3月26日・29日・30日にも訪問予定)

●**群馬県の支部訪問**
2月5日(月)、6日(火)
初日は、藤岡市、高崎市内の薬局を訪問し、その後、高崎市薬剤師会の研修会において講演を行った。二日目は、高崎市の卸会社を訪問後、安中市、富岡市、甘楽町、下仁田町、前橋市内の薬局を訪問した。
2月19日(月)、20日(火)
初日は、渋川市、桐生市の薬局訪問を行い、その後、前橋市薬剤師会の研修会において講演を行った。二日目は、伊勢崎市、太田市内の薬局訪問を行った。

●**山梨県の支部訪問**
2月8日(木)、9日(金)
初日は、東部地区(大月市等)、富士五湖地区(富士吉田市等)の薬局訪問を行い、その後富士吉田市内のホテルにて開催された若手フォーラムに参加し挨拶を行った。二日目は、甲府地区を中心に薬局訪問を行い、その後、甲府市内のホテルにて開催された若手フォーラムに参加し挨拶を行った。

●**千葉県の支部訪問**
2月26日(月)、27日(火)、28日(水)、3月1日(木)
初日は、四街道市内の卸会社と薬局を訪問し、続いて成田市、香取市の薬局訪問を行い、その後、成田市内のホテルで開催されたセミナーにおいて講演を行った。二日目は、佐倉市、柏市、松戸市内の病院、薬局を訪問し、船橋市内のホテルで開催されたセミナーにおいて講演を行った。三日目は、船橋市、習志野市、八千代市内の薬局を訪問後、千葉市内の会議場で開催されたセミナーにおいて講演を行った。最終日は、市原市、木更津市内の薬局と病院や卸会社を訪問した。

●**埼玉県の支部訪問**
2月13日(火)、14日(水)
初日は、埼玉県南部(川口市、上尾市等)の薬局を訪問し、その後、越谷市内の会議場で集会に参加した。二日目は、三郷市の卸会社の朝礼の場で挨拶を行い、その後、さいたま市、朝霞支部の薬局を訪問し、夕刻には、西部地区(所沢市等)の合同集会に参加した。
(3月22日・23日にも訪問予定)

平成30年度

診療報酬・調剤報酬改定が

中医協から答申される！

平成30年2月7日、中央社会保険医療協議会は、加藤厚生労働大臣に対し、平成30年度診療報酬・調剤報酬改定の具体的内容を答申した。改定率については、昨年12月18日の厚生労働大臣と財務大臣の折衝により、診療報酬本体+0.55%、調剤報酬は+0.19%、医科と調剤の改定比率1:0.3が堅持され公平な改定が決定された。

答申では、具体的な点数等が示されているので、主要項目について解説する。

かかりつけ薬剤師の評価

かかりつけ薬剤師指導料 70点↓73点
 かかりつけ薬剤師包括管理料 270点↓280点
 当該保険薬局に6か月以上在籍
 ↓1年以上在籍
 週32時間以上勤務↓育児・介護休業法で定める期間は週24時間以上かつ週4日以上の場合を含む。

地域医療に貢献する薬局の評価

地域支援体制加算 35点(新設。基準調剤加算は廃止)

効率的で質の高い在宅薬剤管理指導業務の推進

無菌製剤処理加算 (カッコ内は6歳未満の場合)
 中心静脈栄養法用輸液 65点↓67点
 (130点↓135点)
 抗悪性腫瘍剤 75点↓77点
 (140点↓145点)

麻薬

65点↓67点
 (130点↓135点)

対人業務の評価の充実

服用薬剤調整支援助料 125点(新設)
 薬服用履歴管理指導料
 6か月以内の再来局 38点↓41点
 それ以外の場合 50点↓53点
 特養入所者 38点↓41点
 手帳なし又は調剤基本料1以外の場合 50点↓53点

いわゆる大型門前薬局の評価の見直し

後発医薬品の数量割合2割以下の場合
 ↓調剤基本料から2点減算(受付回数月600回以下は除く)

調剤基本料

調剤基本料2
 ↓(1)月4000回超・集中度7割超
 (2)月2000回超・集中度8.5割超
 (3)特定の保険医療機関に係る処方箋受付回数が月4000回超
 (同一建物内に複数保険医療機関が存在する場合はその全ての処方箋を合算等)
 調剤基本料3
 ↓(1)同一グループの処方箋が月4万回超・40万回以下、集中度8.5割超又は特定の保険医療機関と不動産の賃貸借関係あり 20点↓20点
 (2)同一グループの処方箋が月4万回超、集中度8.5割超又は特定の保険医療機関と不動産の賃貸借関係あり 20点↓15点
 特別調剤基本料(調剤基本料1~3以外)
 15点↓10点(病院敷地内を含む)

訪問指導料における居住場所に応じた評価

在宅患者訪問薬剤管理指導料
 同一建物居住者(300点)、それ以外(650点)
 ↓単一建物診療患者1人(650点)、同患者2~9人(320点)、それ以外(290点)

後発医薬品の使用促進

加算1(18点):65%↓75%
 加算2(22点):75%↓80%
 加算3(26点(新設)):85%

本田あきこ副会長を囲む

女性薬剤師の会 in 近畿

平成30年2月3日(土)、近畿薬剤師合同学術大会において、女性薬剤師の会が開催された。

3年前の藤井選挙の際に京都で集まった有志を中心に呼びかけ、2府4県の女性薬剤師が集まり、本田副会長とケーキセットを食べながら、親睦を深めた。

参加者は病院薬剤師会からも含め29名、最高齢は京都府女性薬剤師会の加藤和子先生で91歳であった。この会合を知り、是非参加したいと駆けつけてくださった。

学術大会副会長で、大会中での開催にご尽力くださった近田厚子京都府薬剤師会副会長も参加され、女性薬剤師の結束を呼び掛けてくださった。

当日は中心メンバーの発案でなにか一つオレンジのものをも身につけての参加を呼びかけた。
 スカーフ、ブローチ、セーター、スカート、ネックレス...サムシングオレンジで会場はぐっとおしやれで華やかな雰囲気になった。

山本会長も激励に來られ、このような会を下からどんどん開催して盛り上げてほしいと挨拶された。
 本田副会長も参加者ひとりひとりとお話しされ、1時間という短い時間であったがとても中身の濃い集会となった。



日本薬剤師会会長会でデビュー!!



ファーマくんがゆく

日本薬剤師連盟 荻野構一 副会長を お訪ねしました

「ファーマくんがゆく」の日本薬剤師連盟役員シリーズ第2弾は、荻野副会長です。日本薬剤師連盟に荻野副会長をお訪ねしました。

ました。

男1人女3人と雌の柴犬1匹の女系家族です。平穩無事に過ごしてきたことに感謝しながら、家庭生活には満足しています。

ファーマくん：以下、ファーマ こんにちは。今日は荻野副会長のプライベートも含め、いろいろな質問をさせていただきます。まず、ご家族について教えてください。奥様とは恋愛結婚とお聞きしていますが、家庭生活に満足されておられますか。

ファーマ 大学時代の思い出を教えてください。奥様とのなれ初めについてもお聞かせください。

荻野副会長 薬科大学でない大学を志望して随分と浪人生活を経たから入学しました。

その反動で、勉強よりも学生生活を謳歌してしまいました。大学ではクラブや同好会には所属せず、幼なじみ数人と硬式テニスのサークルを結成したり、同じ仲間達とヨット(ディンギー)を購入して逗子海岸で潮風に吹かれ過ごすことも多く、楽しい大学生活を過ごしました。

子供は娘二人に恵まれ、長女は某製薬メーカー研究所の職場で知り合ったお相手と結婚、次女は2回目の大学で薬科大学を卒業し薬剤師1年生になりました。

大学の友人ともよくお酒を飲み交わしながら将来の夢を語り合っていたと思います。沢山の友人、仲間にも恵まれたことは幸せでした。

家内との出会いは、4年次に所属する研究室を決める際に知り合いました。わが母校は男子部と女子部に分かれていて、授業は男女別々の教室で受けていましたので、お互いに研究室が一緒になるまで知り合うことはありませんでした。今となって見れば、劇的な出会いだったのでしょうか。

荻野構一(おぎのこういち)副会長プロフィール



- 昭和57年東京薬科大学卒業
- 平成16年より新潟県薬剤師会理事、常務理事、専務理事
- 平成27年より同副会長
- 平成26年より本連盟副会長
- 平成26年より日本薬剤師会理事

しました。

10年程サラリーマン生活が経過した頃に、突如として私の家内に薬局を開設する話が持ち上がりました。当初、私は会社の仕事をしつつ、家内が薬局を運営すること始めました。しかし、神奈川県と新潟県に分かれての生活になること等悩んだ末に私も一緒に薬局の仕事をすることを決断し、家族揃っての新潟生活が始まりました。

ファーマ 政治活動への関わりや、日本薬剤師連盟での、これまでの活動についてお聞かせください。思い出に残ることも教えてください。

荻野副会長 私の父親が比較的政治に関心がある人でしたので、父の話を聞くことで、政治に対する意識付けをしにくれたと感じています。

日本薬剤師連盟との関わりは、「企画実行委員会」の委員となり、その後、役員に指名され今日に至っています。

私にとって多大なインパクトを与えて下さった故小田利郎幹事長との「早朝ウォーキング」は、決して忘れられない思い出になりました。

ファーマ 連盟活動において、特に心がけていることはどのようなこと

でしょうか。

荻野副会長 連盟活動は裏方の仕事とよく言われます。しかし、誰かがやらなければならない重要な仕事であることも確かです。

薬剤師の10年、20年後さらには50年後、100年後の姿を思い描いて、今できることを我々薬剤師がやらなければ誰もしてくれないという気概で取り組んでいます。

ファーマ ところで、人生における好きな言葉、モットー、趣味等を教えてください。思い出でしょうか。

荻野副会長 座右の銘は特に思い浮かびませんが、強いて言えば「誠心誠意」が好きです。

趣味はスポーツでした。テニス、ヨット、ゴルフなどしていましたが、現在は遠ざかっている状況です。その他はジャズやクラシック音楽を聴いてリフレッシュしたり、絵画や陶磁器、漆器を眺めるのも好きです。

ファーマ 次に、ふるさと自慢を願います。

荻野副会長 新潟市は明治になるまで北前船の日本海側最大の寄港地でした。そのため、江戸時代には、新橋、祇園、



新潟が日本の三大花街といわれていたそうです。現在は大部分なくなりましたが、芸妓さんやお座敷に呼ばれる文化はまだ灯をともし続けています。

戊辰戦争で幕府軍についたためか、明治維新以降は辛酸を舐めてきたのかも知れませんが、田中角栄元総理の政治力で新潟のインフラは様変わりしました。また、日本酒に美味い食べ物宝庫であることは間違いありません。

ファーマ 最後に、日本薬剤師連盟の副会長として、最も力を入れていきたいことを教えてください。

荻野副会長 第一は、本田あき副会長を強力に支援すること。第二は、連盟活動の必要性を薬剤師にもっと知ってもらうこと。全国の薬剤師連盟の組織を強くしていくこと等をしていきたいと考えています。

ファーマ 本日は、楽しいお話をありがとうございました。これからも薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。

もとゆき Report 藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士
自由民主党組織運動本部本部代理・参議院議員
藤井もとゆき

タバコのないオリンピック・パラリンピック

韓国のピョンチャンで開催された冬期オリンピック、日本は金メダル4個を含む13個と過去最多のメダルを獲得して閉幕し、3月9日に開幕した冬期パラリンピックもまもなく終幕を迎え、いよいよ次は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催となります。2年後の開催に向けて、メインスタジアムとなる新国立競技場などの競技場建設やインフラ整備が着々と進められていますが、WHOとIOCが連携して推進する、タバコのないオリンピック・パラリンピックの開催に向けた仕組み作りも急がなければなりません。

厚生労働省は、受動喫煙防止対策を盛り込んだ健康増進法改正案について、昨年の通常国会に提出すべく準備を進めていましたが、自民党内の受動喫煙対策強化を望む積極派と事業者への影響を考慮して柔軟な対応を求める慎重派との間の意見集約が整わず先送りとなり、法案内容を一部見直したうえで今国会へ提出する運びとなりました。

今回の改正案では、学校・病院・児童福祉施設・行政機関等を敷地内禁煙とし、飲食店については原則として屋内禁煙としていますが、当初30㎡以下としていた除外規定を、個人又は資本金5,000万円以下の中小事業者が運営する100㎡以下の既存の飲食店に改め、中小事業者等の経営に配慮する内容となりました。受動喫煙の防止という観点からは必ずしも十分とは言えませんが、喫煙可能な飲食店にはその旨の掲示が必要となり、望まない受動喫煙を避ける手立てが増えることは一歩前進とも思います。また、新規出店の飲食店には除外規定が適用されないことから、喫煙可能な店舗は順次少なくなるものと思われれます。更に、こうした規制の制定が契機となって受動喫煙への関心が高まり、地域や個人での自主的な取り組みが進むことも期待されます。

タバコの健康への影響を十分理解している医療関係者にも愛煙家はおられると思いますが、改めて喫煙を考える機会にしてみても如何でしょうか。

編集後記

「今ありて」

今を見つめ直すことで新時代の扉が開ける。こんな思いが込められた歌が(故)阿久悠さん作詞、谷村新司さん作曲「今ありて」です。今年も、まもなく始まる選抜甲子園の歌です。谷村新司さんは高校球児を見つめ続け、青春の希望を高らかに作曲し、歌っています。この歌詞は年を経るごとに、この歌に込められた思いが深く突きさります。「その瞬間にすべてを込めて生きる」日々の暮らしの中で私たちが忘れそうになってしまうことを気づかせてくれます。

先般、日本薬剤師会より薬剤師倫理規定の改定として「薬剤師行動規範」が解説付きで発表された。日本薬剤師会雑誌3月号に掲載予定だそうです。薬剤師全員が今それを熟読し、出来れば薬局内で、地域薬剤師会で、ぜひ意見を交わしてほしいと思います。そのとき、県薬や地域の役員が「なぜ、この倫理規定の改定を行わなければならないか」をしっかりと説明をして、意見交換の中に反映をさせるべきと私は思います。

今回のpowerに調剤報酬の速報を掲載していますが、もう調剤報酬だけで薬局運営、薬剤師業務を語る事ができない時代が目の前に来ていることを認識し、もう一度薬剤師になった瞬間を思い出して行動すべきだと「今ありて」を聞きながら感じています。

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子

(H.O.)